

2026年度 公募制推薦入試 前期日程 出題の意図

科目	出題の意図
英語	<p>〔Ⅰ〕長文読解 ・重要な語句について文章の中での意味を正しく理解できているかチェックする。 ・長文について段落ごとの内容を正しく理解できているかチェックする。</p> <p>〔Ⅱ〕適語句選択 高校卒業までに学ぶ重要な文法・語法、語彙・イディオムを正しく理解できているかチェックする。</p> <p>〔Ⅲ〕語句整序（英作文） 提示された日本語の文の意味に合うように、英語で作文する力をチェックする。</p> <p>〔Ⅳ〕適文選択（対話文） 日常的な内容の英会話の流れを把握し、空所に適切な発話が補充できるかチェックする。</p> <p>〔Ⅴ〕ビジネスメールや広告文など図表を含む資料等の読解 提示された資料の内容について、図表のデータ・情報などと照合しながらその要件やポイントが理解できているかチェックする。</p>
数学	<p>どの試験もマークセンス方式の小問集合から構成されている。問題の大半は教科書の練習問題から章末問題程度の水準であり、必要があれば誘導をして、特別な発想力が無くても解けるように設計されている。</p> <p>数学Ⅰ・Ⅱの範囲では場合の数と確率、図形の性質、三角比、集合と論理、数と式、2次関数、データの分析について、数学Ⅲ・Ⅳの範囲では、三角関数の加法定理、ベクトル、数列、指数対数関数、多項式の微分積分について、それぞれの試験範囲における基礎的事項をまんべんなく問い、全体的な学習習熟度を測ることを意図している。</p>
国語	<p>高等学校までに培った総合力を判定することを目的として出題している。長文読解の二題はいずれも現代の論理的文章を読み、その内容を正確に理解できているか問う問題となっている。傍線部の前後だけ読んだり、全体を曖昧に理解しているだけでは正答を導けない。記述問題では、要点を簡潔にまとめる力を問うた。また、漢字問題では正確に漢字を理解しているか、語彙問題では正しく語句の意味・用法を理解しているかを問うた。</p>
物理	<p>物理学は公式に当てはめることで正解を導く知識の学問ではなく、概念の学問である。とらえどころのない抽象的な「エネルギー」や「熱」などの概念をどの程度理解しているのか、難易度に変化をつけた問題構成としている。物体の運動、電気、熱または波に関するテーマから、これらの現象を記述する基本的な問題を出題した。公式の暗記だけでは高得点がとれない設定となっており、公式がどのような条件と過程を経て導かれたのか学習の理解度が問われる。</p>
化学	<p>化学基礎と化学の各単元から幅広く出題し、基本的な事項の理解、思考力および計算力が身につけているかを評価している。</p> <p>〔Ⅰ〕の小問は、教科書の例題や章末問題レベルの難易度で、基本的な化学の知識と計算力を問う設問で構成されている。</p> <p>〔Ⅱ〕～〔Ⅳ〕は教科書の各単元の内容に沿った冒頭のリード文を読み進めながら、複数の設問を通して化学で重要な用語・知識や基本的な化学反応が理解できているかどうか、また化学的知識の応用力や計算力を評価している。</p>
生物	<p>本問題は、教科書に基づく基礎的かつ重要な事項を、偏りなく理解しているかを問う。細かい知識の暗記量ではなく、生命現象の根底にある原理や法則を正しくつかめているかを重視する。また、図や資料から情報を的確に読み取り、内容を整理したうえで論理的に考察し、妥当な解答を導く力も評価する。基礎知識の定着度と、それを活用して多角的に考える思考力を総合的に測るのが、本出題の意図である。</p>